

# 2024年度(令和6年度)学校評価自己評価表

新市中央中学校区	校番 67	福山市立綱引小学校
最終更新日		2024年(令和6年)4月1日

## I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

## II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校も中学校も元気大賞や文部科学大臣表彰を受賞するなど、良く頑張っている。目指すところも良くわかる。良くやってもらっている。</li> <li>キャリア教育に様々に取り組み、子どもの生活の一部になったと思う。来年度に繋げて欲しい。</li> <li>各校とも、目標を立てて、地域と1つになって取り組まれていて素晴らしい。</li> </ul>	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校とも落ち着いた温かい雰囲気の中で、学び合ったり、教え合ったりする姿が多く見られている。</li> <li>全国調査質問紙の主体的・対話的で深い学びに関する項目の肯定的評価は5校とも良好である。</li> <li>体育委員会が企画・立案の体力づくりイベント等の実施により、「運動が好き」「進んで体力向上を図った」と答える子どもが増えている。</li> </ul>	<p>育成する力 21世紀型“スキル&amp;倫理観”</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>チャレンジ&amp;チェンジする力、自己理解力、自己表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標達成に向けた計画を立て、取り組む児童生徒。そして、その取組を定期的に振り返り、改善策を考える児童生徒。</li> <li>自分の将来の夢や目標を持つ児童生徒。</li> <li>自分の思いや考えを相手に分かりやすく説明する児童生徒。</li> <li>地元事業者や地域の方と育成したい資質・能力を共有しながら、出前授業、探究学習、職場体験学習、面接など、様々に取り組んでいく。</li> </ul>
--	--	--	--

## III 自校

<p>ミッション</p> <p>地域から愛され、応援される学校づくりを行う。</p>	<p>育成する力 21世紀型“スキル&amp;倫理観”</p>	<p>チャレンジ&amp;チェンジする力</p>	<p>自己理解力</p>	<p>自己表現力</p>
<p>学校教育目標</p> <p>心豊かに 自ら学ぶ子どもの育成</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>1・2年</p> <p>苦手なことでも最後まであきらめずにチャレンジしている。</p>	<p>自分の好きなことややってみたいことをもち、自分のよさを理解している。</p>	<p>自分の思いをもち、相手に伝えている。</p>
<p>現状</p> <p>&lt;児童&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇落ち着いた学習に取り組む児童が多く、「学ぶことが楽しい」児童(全校)は、88.7%。R5全国学力・学習状況調査(6年)では、国語・算数とも全国平均を上回り、主体的・対話的で深い学びに関する質問紙項目も概ね高い数値である。</li> <li>〇地域に出かけたり、地域の方から学んだりする場が多くあり、「地域が好き」な児童は96.6%と高い。</li> <li>〇自分の興味や関心のあることに自ら取り組む週末の「わくわく学習」が定着し、主体的な学び方が浸透してきている。</li> <li>●CRTや学びの伸び調査、全国学テ等の学力調査において、正答率40%未満の児童が、20%程度いる。</li> <li>●学力が定着できていない児童の実態を細やかに把握することが不十分で、適切な支援が行われていない。</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇理科の研究を継続して行い、理科が好きな児童の育成や自信をもって理科の授業を行うことができる教員が育っている。</li> <li>〇自分の考えを友だちと交流したり教え合ったりする学習方法が好きな児童が多い。</li> <li>●理科以外の教科・領域の授業について学ぶ機会が少なく、様々な教科の本質にせまる学びづくりについて研修したいという教員が多い。</li> <li>●対話や表現を取り入れる授業展開や場づくりに躊躇し(コロナ禍)、学び合うスタイルの授業づくりが十分できていない。</li> </ul>	<p>3・4年</p> <p>失敗を恐れずチャレンジし、失敗してもそれをもとに次どうすればよいか考えている。</p>	<p>自分の好きなことややってみたいことをもち、自分のよさと課題を理解している。</p>	<p>自分の思いや考えを多様な表現方法で堂々と表現している。</p>	
	<p>5・6年</p> <p>リーダー性を身につけ、課題を解決するためにチャレンジし、改善しようとしている。</p>	<p>自分のよさや課題を理解し、よさを伸ばし、課題を克服しようとしている。</p>	<p>自分の思いや考えを根拠を示しながら工夫して表現している。</p>	
	<p>研究</p> <p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>自分の考えをもち、学び合う授業づくり ～学びを楽しむ子どもの姿を引き出す授業者の挑戦～</p> <p>〇学び合いを取り入れ、確かな学力をつける。(全教科・領域)</p> <p>〇単元を通して、科学的思考力が向上する学び方の実践。(理科)</p>		
	<p>めざす授業の姿</p>	<p>① 教材研究と児童理解をもとにした授業。(40%未満児童への支援の充実)</p> <p>② 必然的な学び合いのある授業。(子ども主体の学びづくり)</p> <p>③ 自己肯定感や達成感のもてる授業。(わくわく学習との往還)</p> <p>キーワード「記号接地」</p>		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立新市中央中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)				
							□指標に係る 取組状況	力 以 評価	達成 評価	改善 方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	力 以 評価	達成 評価	総合 評価	改善 方策
4	子どもが学びに 向かう力、学び 続ける力、なり たい自分に向か う力を育成す る。	★	継 続	目標達成のため の方法を考え、粘 り強く取り組む 子どもを育成す る ＜チャレンジ& チェンジする力＞	①教材研究と児童理解 に基づいた授業を行う。 (研究部) ②40%未満の児童への 支援を考えて授業に臨 む。(研究部) ③児童会役員、学級代表 を中心に目標をもって 行事や日常生活を行う。 (特活部)	①「学びが面白い」 90%以上(児童) ②国語・算数・理科 の単元テストにおい て、40%未満の児童 10%以下(まとめテ スト) ③キャリア大作戦の事 後アンケートで肯定的 評価80%以上(児童)									
				自分のよさや課 題を知り、向上心 をもって取り組 む子どもを育成 する。 ＜自己理解力＞	①自分の興味・関心や苦 手から考えた「わくわく 学習」を推奨・評価する。 (研究部) ②各学級、帰りの会など で友達のよさを認め合 う活動を行う。(特活部)	①「自分のためになる わくわく学習ができた」 80%以上(児童) ②「自分にはよいところ がある」90%以上(児 童)									
				思いや考えを相 手や場に感じて 分かりやすく説 明できる子ども を育成する。 ＜自己表現力＞	①授業の中に「学び合 う」場をつくり、工夫し て発表する力をつける。 (研究部) ②網引の地域のよさを 語る場を学期に1回以 上設定する。(特活部)	①「資料や文章、話の 組立て等を工夫して 発表している」80% 以上(児童) ②網引の地域のよさを 自分の言葉で表現 する児童80%以上 (作文・スピーチ等)									
4	教職員が元気・ 笑顔で勤務でき る環境を充実す る。	★	継 続	教職員が実践力 を高めるととも に、やりがいや充 実感を持って教 育活動を行う。	①日常的に授業につい て語り合い、認め合う職 場づくりを行う。(教頭) ②自分の目標を決め、年 間を通して挑戦してい く。(教頭)	①職員間で「自分が認め られていると感じる」9 0%以上(教職員) ②「仕事にやりがいを感じ る」90%以上(教職員)									

[プロセス評価の評価基準]

[達成評価の評価基準]

[総合評価の評価基準]

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。
4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。
3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。
2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。
1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。

評点	評価基準	
5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。